

令和8年度 第1回瀬戸市地域公共交通会議 会議録

開催日時	令和8年6月30日（火） 午前10時から午前12時まで				
開催場所	瀬戸市役所 4階 大会議室				
出席委員	23名	欠席委員	1名	傍聴者	6名
事務局挨拶 会の成立の報告 資料の確認 1 会長あいさつ 2 議長あいさつ 中部運輸局愛知運輸支局より参考資料「活発で良い議論ができる会議のために」の説明 3 議事 (1) 令和7年度瀬戸市地域公共交通会議 事業報告【報告事項】 別紙資料1をもとに事務局から説明 <u>事務局より資料修正の報告</u> 資料1 26ページ『◎運行における各種情報について』の表のうち、 誤 1便あたり利用者数 正 1日あたり利用者数 (質疑応答) (公募市民 竹中委員) 資料1の2ページの令和7年度の実施状況がわかりにくいです。△と○はどう違うのですか。 (事務局) △と○については令和7年度に実施したものについては○、すでに完了している、もしくはあまりできなかったものについては△としています。例えば、“◎陶生病院バスロータリーのハブ化”は令和2年度に整備済みで、令和7年度は事業がなかったので△としています。 (公募市民 竹中委員) それでは“◎バリアフリー化の推進”は○になっていますが、瀬戸市のバリアフリー化は完了したということですか。 (事務局) バリアフリー化の推進について、ハード整備は令和7年度に実施しておりませんが、交通事業者によるバリアフリー対応車両の継続使用や、バリアフリーに対する社員教育といったソフト事業は進めていただいているため、実施済みとしています。他にも、愛知県にバリアフリー整備補					

助金を継続して要望しています。

(公募市民 竹中委員)

瀬戸市地域公共交通網形成計画の95ページでは、この計画はPDCAサイクルに基づいて行う、と記載されています。また、2026年度は次期計画を策定するため、checkの項目で目標・事業の評価(中長期計画評価)と記載されています。現計画の評価を行いたいです。

(事務局)

現在、新たな計画の策定業務を進めており、この作業では現計画の評価も行っています。その内容については次回以降の会議の場で報告を予定しています。

(磯部議長)

現計画の評価方法はどのように行う予定ですか？

(事務局)

昨年実施したアンケート調査の解析や、目標設定している指標について改めて最新の数値を確認しているのと、後ほど報告するように地域の意見も聞きながら進めます。

(磯部議長)

2ページ目の実施状況について、記号化するのではなく、文章で記載するのはいかがですか。

2ページの表の横にどんな事業を実施したか、またすでに完了した事業については完了、など視覚的にわかりやすく図示してあると良いです。3ページに事業成果として実績値が記載されており、その結果の理由を事務局が考察し、整理をしていただけると良いです。

(事務局)

次回以降の資料作成時の改善に努めます。

(公募市民 竹中委員)

瀬戸市公共交通網形成計画は、方針に基づく目標があって、目標が達成されているか判断するための事業の実施状況があります。事業報告の際に1つ1つの説明が難しいのであれば、計画冊子をご用意いただくか、印刷をして机上に用意してください。

(事務局)

承知いたしました。

(公募市民 長江委員)

3ページの表①満足度について、令和7年度の実績が52.1%、令和6年度は実施していないため令和4年度の実績が38.4%で、数字のみ見ると満足度が13.7%上がっていますが、増加の理由を説明してください。また、公共交通の利用者数がすでに目標値を超えていますが、上方修正はしないのでしょうか。

品野デマンドバス利用者は増えているとご報告がありました。鳥原婦人会以外にもコミュニティバスの乗り方がわからない高齢者は多いため、高齢者に向けた乗り方教室を順次開いてください。

(事務局)

公共交通に関する満足度について、令和6年度の数値と令和7年度の数値は、同じ設問内容でアンケート調査を行っていないため単純に比較できません。

目標値は、計画策定当初に設定した目標値に対して当該年度の実績を比較することとし、計画

年度の途中で目標値を修正する考えはありません。

（磯部議長）

目標値は計画策定当初の値で固定しているということは理解しました。満足度については、比較できないものに関しては記載方法を工夫してください。その他にご意見等がありますか。

（中部運輸局 愛知運輸支局 山田委員）

資料１２ページで上之山線やこうはん線など利用の多い路線については乗りこぼしが発生していると説明がありましたが、乗りこぼしの発生状況や今後の対策など、事務局として検討していることがあれば教えてください。

（事務局）

どの路線も午前中に乗りこぼし（追加タクシー）が発生しています。品野３線は、４月１日から午前中の下り便をジャンボタクシーに変更したことで、昨年の４、５月で２５件発生していた追加タクシーが今年は２件まで減少しました。

こうはん線は車両の大型化を検討しており、将来的に乗りこぼしを減らせるように努めます。

（石川副議長）

公共交通に限らず、施策についてＰＤＣＡのサイクルで評価をするのは非常に重要です。網形成計画策定に携わっていない新しい委員にとってはわかりにくい部分もあります。計画の内容を参照しながら意見交換が出来ると思いますので、瀬戸市地域公共交通網形成計画の冊子が机上に用意されていると思います。

公共交通に対する意識を醸成しながら利用者を増やしていくことが理想です。公共交通を利用しようと思っても、情報が少ないと利用してもらえないので、昨年は南山大学の学生が、利用者やドライバーの意見も参考にしながら菱野団地住民バスの利用案内を作成しました。非常に好評をいただいていると聞き、とてもうれしいです。市内にはほかにも様々な路線がありますので、また協力させていただきます。

（瀬戸自動車運送株式会社 横山委員）

事業報告の場合なので数値や指標を確認することは重要ですが、この会議の間では細かい数値や指標について議論するのではなく、より利用してもらえるような方法を皆さんと意見交換することが重要です。

瀬戸市民の生活の足を確保するために路線を維持することが公共交通の役割であるため、お金がかかるからこの路線は廃止する、といった話し合いではなく、この地域は人口が多いためこういった取り組みをしてみてもどうか、この地域は人口が少ないが足を確保するためにはどういった取り組みが必要か、といった話し合いが出来たら良いです。住民代表の方も委員としてみえるので、バスに乗った際にこのような点で感謝したとか、この運行方法は利用しにくい、といった話をしてもらえると事業者の立場としても嬉しいです。

事務局からこうはん線が尾張旭市に乗り入れしたという報告がありましたが、事業者の立場から利用状況を報告しますと、あさび一号に乗り継いでいる方は非常に多く、愛知医大や、ロピアに行かれる方が多いようです。あさび一号からこうはん線に乗り換える利用者は把握できていませんが、瀬戸市にとってさらに良い公共交通となるよう協力していきます。乗りこぼしや、利用が伸び悩む路線など他にも課題はありますが、委員のみなさんと意見交換してたくさん利用してもらえる公共交通になると良いです。

（石川副議長）

愛知医大には待合いのフロアにデジタルサイネージがあって、非常にわかりやすいです。一方陶生病院はわかりやすい案内がされていません。計画の中で『陶生病院のハブ化』が位置付けら

れ、多くの路線が陶生病院に乗り入れています。わかりやすい案内がされていません。計画でも案内環境を充実させるとあり、形だけのハブではなく、みんなが使いやすいハブとなる必要だと感じました。

また公共交通の満足度についてですが、満足度はアンケート調査の実施方法、設問内容、選択肢などによって大きく変わります。3ページの満足度は比較できないという意見がありました。毎年アンケート調査を実施するにはたくさんの金額と労力が発生します。令和8年度は新たな計画策定の大事な年であったため、昨年私の学生が調査にお手伝いさせて頂きました。網形成計画策定当初の満足度は48.6%であり、昨年のアンケート調査は網形成計画の策定時の設問を基にして作成したため、比較は可能です。比較すると48.6%→52.1%となっているため、少しだけ増加している一方で、目標にしている60%には届いていない、というのが現在の評価になると思います。

(磯部議長)

みなさまご意見ありがとうございました。比較対象が適切である、また明確であることが大事です。事務局は資料の作り方を整理してください。それではこちらは報告事項ですので次の議題に移ります。

(2) 令和7年度瀬戸市地域公共交通会議 歳入歳出決算書(案)【認定事項】

別紙資料2をもとに事務局から説明

(質疑応答)

(公募市民 竹中委員)

昨年もお質問しましたが、この資料だと節の部分がわからないため、人件費や燃料費などの内訳をご説明いただけますか。

(事務局)

決算書のレイアウトについて昨年と変わっていないというご指摘ですが、公共交通会議で認定された予算書の決算報告のため、予算書項目と同じ項目で決算報告します。予算からどの部分が主に増えたかですが、令和7年度第5回瀬戸市地域公共交通会議で補正したとおり、名鉄バス、住民バスの運行事業について、燃料費や人件費の高騰が主な増額項目です。「公共交通の利用を促進する施策」等につきましては、昨年は大きな修繕等がなかったことから、コミュニティバスのマップ作成業務委託費のみ記載しております。

(公募市民 竹中委員)

各事業費が上がったというだけではなく、どの費用がどれだけ上がったかの共通認識を委員の皆さんで持つことが重要です。

(磯部議長)

この資料には令和7年度の数値しか記載がされていないため、少なくとも昨年度との比較はしてほしいというご意見です。他にご意見はありますか。

(瀬戸自動車運送株式会社 横山委員)

補正を組む事業者、組まない事業者がいて、決算額の詳細についての議論になると時間が足りない。この場では組まれた予算額が正しく使われた、ということについて話し合いをするべきではないですか。

(磯部議長)

ご意見ありがとうございます。各事業者と瀬戸市間で運行に関する契約を結んでいて、契約の内容や内訳も統一されていないので、基準の適正化はなかなか計れません。少なくとも昨年度の金額が記載されていれば大まかな比較はできますので、事務局はわかりやすい資料の作成方法について検討してください。

(事務局)

資料の記載内容について検討します。

(公募市民 竹中委員)

全ての金額を明らかにしてほしいわけではなくて、節の中のこの項目の金額が上がったため決算額が多くなりました、といった説明を聞いて、認定すべきです。

(磯部議長)

ご意見ありがとうございます。議事1の事業報告についても同じことですが、時系列でみてどのように変化していったか、その事業の妥当性を確認することが重要です。

その他にご質問等がありますか。なければ採決に移ります。

採決 <全会一致で認定>

(3) 地域公共交通計画（地域公共交通確保維持事業）【協議事項】

別紙資料3をもとに事務局から説明

(質疑応答)

(公募市民 竹中委員)

この2次評価の通知は国からの評価が確認できるので、これからも参考資料として添付してください。

(中部運輸局 愛知運輸支局 山田委員)

2次評価の通知で記載されている、評価する取り組みは瀬戸市が取り組んだもの、期待する取り組みは、資料2ページ目の「3 2の目標を達成するために行う事業及びその実施主体」に織り込んでいただいて、2次評価で国から言及されている内容は、資料のここに反映されています、と説明いただくとよりわかりやすいです。

期待する取り組みに記載されている事項の多くは活性化に関する記述です。住民や関係者への周知、住民や事業者からの提案に対する対応、といった利用促進に取り組む事業が記載されていると良いです。今回の資料にはそういった内容も含まれておりますので、更なるブラッシュアップや、新たに取り組めそうな内容をご説明いただけるとより良いです。

こうはん線は新たに地域間幹線系統の申請をされるとのことですが、国からの承認が得られれば、こうはん線を維持するための補助金が得られます。この路線も生活交通として非常に重要な路線なので、維持に向けて引き続き協議会で議論してください。

(磯部議長)

ありがとうございます。どの路線も維持をしていく必要のある大事な路線です。この協議会で承認が得られれば、事務局から国に申請の手続きをしてもらいます。

その他にご質問等がありますか。なければ採決に移ります。

採決 <全会一致で認定>

(4) 瀬戸市地域公共交通計画進捗報告【報告事項】

別紙資料4をもとに事務局から説明

(質疑応答)

(磯部議長)

ありがとうございます。先ほど交通資源のフル活用というお話がありましたが、企業バスなどの自家用車として白色ナンバーで登録されている車両も、市民の輸送に活用できる余地はあるのか調べることは非常に良いことです。

計画策定を進めるにあたり、他に意見があればお聞かせください。

(石川副議長)

この計画策定の準備として、昨年度公共交通に関するアンケート調査を南山大学の学生が協力して実施しました。単純な集計を行いました。自由記述の集計はできていないため、より深い分析・集計を実施してください。

(磯部議長)

ありがとうございます。その他にご質問等がありますか。なければこちらも報告事項ですので次の議事に移ります。

(5) 令和9年度 本地ヶ原線に係る生活交通確保計画【報告事項】

別紙資料5をもとに事務局から説明

(質疑応答)

(磯部議長)

本地ヶ原線は尾張旭市、長久手市、名古屋市と広く運行をしており、地域間幹線系統としてこちらも維持していくべき路線です。何かご意見やご質問はありますか。なければこちらも報告事項ですので次の議事に移ります。

(6) 菱野団地住民バス 持続可能な運行に向けて【報告事項】

別紙資料6をもとに事務局から説明

(磯部議長)

事務局からも説明がありましたが、これは協議事項ではないので、すぐに決まるというものではありません。関係各所と話しを進めていき、順番に進めていくことになります。

参考事例として紹介したいのが、春日井市の高蔵寺ニュータウンにある石尾台での取り組みです。春日井市の公共交通会議で石尾台が交通空白地域として認められており、自家用有償旅客運送での運行が認められています。また参考にしてください。委員のみなさんから何かご意見やご質問はありますか。

(公募市民 竹中委員)

この自家用有償旅客運送への移行は参議院で可決された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案の予算を活用されますか。

(事務局)

活用しません。

(国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局 山田委員)

この住民バスは現状無料で運行しているため、有償化することで特に利用者をはじめ、他の交通事業者に対してもどのような影響が出るのか、といったことも含めて丁寧に調整してください。菱野団地コミュニティ交通運行協議会で決まった内容を地域住民や交通事業者に対して説明いただき、懸念点が発生した場合はわれわれにも共有いただいた上で、対応してください。

(磯部議長)

今後委員のみなさんに検討してもらうことが発生してきますので、よろしくお願いします。他に何か意見やご質問はありますか。なければこちらも報告事項ですので次の議事に移ります。

4 その他

(磯部議長)

その他のご意見もないようですので、事務局に進行をお返しいたします。

○ 閉会

(事務局)

磯部議長、円滑な議事進行ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和8年度第1回瀬戸市地域公共交通会議を終了します。次回の第2回瀬戸市地域公共交通会議は11月下旬～12月上旬頃の開催を予定しております。本日はどうもありがとうございました。